

多くの人が
何かやらなければ・・・
自分にできることは何か・・・
そう考えて
一歩を踏み出した
そして
ここでも・・・

ブ
ク

県民ラジオ

原案・脚本・制作：澤田修
協力：薄崇雄、喜多方シティエフエム

芝居仕立ての語りと音でつづる福島

シ
マ
発

2015年8月17日(金)16:00～

蒲協働センター 東区千安町309-1

フクシマ発

原案・脚本・制作 澤田修

福島県民ラジオでは東日本大震災後、毎週、「あの時私は」という定時番組を放送し、震災をふりかえる事と震災以後でもがんばっている人たちを登場させて、震災及び原発事故を風化させない様に番組制作をしています。今日は番組始まって以来の公開放送・・・。

ラジオ局のアナウンサーと福島新聞社の中村三郎記者のやり取りから、日本の社会が持っている様々な矛盾を、伝えてさらけだしてしまっただけの福島の現状を伝えます。

●制作にあたって

2011年3月11日 14時46分東日本大震災発生。青森県から千葉県にかけての沿岸部は巨大津波が集落を襲い、死者、行方不明者は約2万人にも達しました。特に岩手県、宮城県、福島県には甚大な被害をもたらしました。

福島県では地震、津波の被害に加えて東京電力福島原子力発電所の水素爆発により、放射能雲が全県を覆い、森林や田畑や河川だけでなく、家畜やペット、県民も大量の被爆をしてしまいました。

福島県の沿岸部、特に双葉郡の町村および飯館村、川俣町、田村市では放射線量が大きく、自宅にも戻れない県民が多数という状況が発生しました。家族を失い、職を失い、自宅を失い、尚かつ故郷を失うという絶望感を味わっております。また子どもたちの健康被害は深刻です。基幹産業の農業、漁業、観光業も窮地においこまれています。風評被害はなかなか復興をすんなりと進めさせてはくれません。

“福島”という言葉にある種の差別感をも発生させました。避難者は県外に約54,000人、県内に約96,000人、人口減少も促進されています。

日本の社会が持っている様々な矛盾を全てさらけ出してしまった福島の現状を知ることは、全国各地に住んでいる全ての人たちにとってとても大切なことだと思っています。なぜなら人間が生きていく上でとても大切なこと、本質的な問題を含んでいるからです。福島県に存在する劇団として、今の福島の現状を全国に発信したいと思っています。



《参考資料》 ◇ふくしま1年の記録(福島民報社)◇原発と日本人[小出裕章・佐高信(角川oneテーマ21)]◇内部被ばくの真実[児玉龍彦(幻冬舎新書)]◇原発放射能 子どもが危ない[小出裕章・黒部信一(文春新書)]◇福島に生きる[玄侑宗久(双葉新書)]◇飯館村は負けない[千葉悦子・松野光伸(岩波新書)]◇大震災のなかで[内橋克人(岩波新書)]◇原発の間を暴く[広瀬隆・明石昇二郎(集英社新書)]◇3・11複合被災[外岡秀俊(岩波新書)]◇この国は原発事故から何を学んだのか[小出裕章(幻冬舎ルネサンス新書)]◇犠牲のシステム福島・沖縄(高橋哲哉)◇福島 原発と人びと[広河隆一(岩波新書)]◇東北発の震災論[山下祐介(ちくま新書)]◇原発難民[鳥賀陽弘道(PHP新書)]◇放射能から子どもの未来を守る[児玉龍彦・金子勝(Discover)]◇瓦礫の中から言葉を[辺見庸(NHK出版新書)]◇南相馬10日間の救命医療[太田圭祐(時事通信社)]◇ラジオ福島の300日[片瀬京子とラジオ福島(毎日新聞社)]◇被災した時間[斎藤環(中央公論新社)]◇内部被曝[肥田舜太郎(扶桑社新書)]◇原発一揆[針谷勉(CY20)]◇フクシマの正義[開沼博(幻冬舎)]◇裸のフクシマ[たつきよみつ(講談社)]◇こういふこと 終わらない福島原発事故[広瀬隆+たんぽぽ舎]◇原発に「ふるさと」を奪われて[長谷川健一(宝島社)]◇フクシマ論[開沼博(青土社)]◇フクシマ元年[豊田直巳(毎日新聞社)]◇地方の論理[佐藤栄佐久・開沼博(青土社)]◇はやく家に帰りたい[鎌田實・ふくしま子ども未来プロジェクト(合同出版)]◇ふるさとをあきらめない フクシマ、25人の証言[和合亮一(新潮社)]◇生きる 原発避難民のみつめる未来(朝日新聞出版)◇福島県民23人の声 3.11大震災と原発を乗り越えて(歴史春秋社)◇報道災害「原発論」[上杉隆・鳥賀陽弘道(幻冬舎新書)]◇原発事故と農の復興[小出裕章、明峯哲夫、中島紀一、菅野正寿(コモンズ)]◇原発とは結局なんだったのか[清水修二(東京新聞)]◇ふたたびの春に[和合亮一(祥伝社)]◇東日本大震災と社会教育[石井山竜平(国土社)]◇まち再生の術語集[延藤安弘(岩波新書)]◇東北一つくられた異境[河西英通(中公新書)]◇原発のコスト—エネルギー転換への視点—[大島堅一(岩波新書)]◇騙されたあなたにも責任がある—脱原発の真実—[小出裕章(幻冬舎)]◇福島原発メルトダウン[広瀬隆(朝日新聞)]◇福島原発の真実[佐藤栄佐久(平凡社新書)]◇原発事故—残留汚染の危険性[竹田邦彦(朝日新聞社)]◇被災地から問う この国のかたち[玄侑宗久、和合亮一、赤坂憲雄(イースト新書)]◇クロニクル FUKUSHIMA[大友良英(青土社)]◇フクシマからはじめる日本の未来[大友良英、金子勝、児玉龍彦、坂本龍一(アスペクト)]◇脱フクシマ論[星亮一(イースト新書)]◇プロメテウスの翼(朝日新聞特別報道部)◇IAEAに正しく対処するための参考資料集(フクシマ・アクション・プロジェクト)◇福島と原発—誘致から大震災への五十年—(福島民報社編集局)◇福島空の下で[佐藤幸子(創森社)]◇あの日からずっと、福島・渡利で子育てしています[佐藤秀樹(かもがわ出版)]◇詩の礎 起承転結[和合亮一(徳間書店)]◇福島核災被災者[若松文太郎(コールサック社)]◇放射線と健康 本当に私たちが知りたい50の基礎知識[黒部信一(東京書籍)]◇日本国憲法(童話屋)◇福島再生 その希望と可能性[池田香代子 斎藤紀 清水修二(かもがわ出版)]◇原発を止める55の方法(宝島社)◇文学界 2012年3月号(文芸春秋)



劇団風の子東北

TEL. 0241(23)0812
FAX. 0241(23)0814

〒966-0097福島県喜多方市宇通船場19番地 喜多方シティエフエム内

劇団風の子 / 〒155-0031 東京都世田谷区北沢4-21-19 TEL:03-3466-8339
(E-mail) tokyo@kazenoko.co.jp (URL) http://www.kazenoko.co.jp

■北海道事務所 011(726)3619 ■中部事務所 058(215)7780 ■関西事務所 075(957)8502
■八王子事務所 042(652)1001 ■九州事務所 092(841)7889 ■中四国連絡所 082(870)0215